

早期からMISに取り組み、現在ではほとんどの症例で用いる

目立たない傷を目指す

MIS(最小侵襲手術)での人工膝関節置換術

患者の要望に沿う医療を 目指し札幌中心部で開院

北海道札幌市の札幌駅より電車1駅でアクセスできるという、交通の便の良い所に立地する桑園整形外科。2007年10月に開院した医院であり、患者により適切な医療を目指して職員が一丸となって診療に取り組んでいる。

東裕隆院長は、膝の治療に重点的に取り組んでおり、前任の市立札幌病院在籍時より、多くの膝疾患を治療してきた。疾患治療だけでなく、スキーやスノーボード、バスケットボールなどのプレー中に受傷することの多い前十字靭帯損傷の治療に取り組んでいるなど、スポーツ障害にも積極的に携わっている。

高齢者が発症しやすい 変形性膝関節症

東院長が力を入れているのが変形性膝関節症に対する治療だ。この疾患は、膝関節にかかる衝撃を吸収する軟骨や半月板が磨り減って、次第に硬い骨まで破壊されていくというものが発症の原因として、加齢による影響や遺伝的な因子が非常に大きいほか、肥満や若いときにかけた負荷、前十字靭帯断裂といった過去に負ったけがなども影響する。

また、日本人の生活様式である正座も悪影響を与えられているため、頻繁に正座をする人も発症リスクが高まる。「変形性膝関節症は、程度の差はありますが60歳を超える大半の方が発症するといわれています。中でも女性に多く見られ、発症者の9割を占めています」と東院長は疾患について説明する。

軽度の場合は立ち上がる際や階段を下る際などの痛みにとどまることが多いが、悪化すると何もしていなくても痛むようになるといいます。「痛みが続くと精神的な苦痛も大きくなります。集中できない、安眠できないなど、日常生活にも悪影響が生じる



人工関節を埋めた膝の正座時の写真



人工膝関節置換術による6cmほどの傷



人工膝関節置換術の手術風景。東院長は低侵襲な手術を心がけている



東 裕隆 院長

あずま・ひろたか ●1992年、北海道大学医学部卒業後、市立札幌病院救急部勤務。北海道大学医学部附属病院整形外科勤務、カルガリー大学(カナダ)留学、市立札幌病院整形外科副院長を経て、2007年10月に桑園整形外科を開院して院長に就任。日本整形外科学会認定整形外科専門医

負担の少ないMISで 人工膝関節置換術を行う

東院長は治療において、「手

術は体に負担がかかるため、患者さんにしてあげたい。極力手術をしないほうが良いでしょう」と、あくまで患者の身になって考え、手術をしない保存治療を第一に選択している。筋力訓練や消炎鎮痛剤の使用、軟骨を構成する成分であるヒアルロン酸の注射、日常生活動作の指導などの保存療法を一通り行っても効果のない患者や、来院の時点で痛みが強い患者などに、検討した上で人工膝関節置換術に踏み切るといふ。

組織への侵襲が低く リハビリも容易になる

膝関節は複数の靭帯がつながり、30cmの切開で行う従来法に比べて、膝蓋骨を避けるように側面から5〜9cm以内の切開で行って筋肉を傷つけないMIS(最小侵襲手術)と呼ばれる手法を用いている。日本に導入されてすぐの2002年7月から取り入れ、2009年1〜12月に実施した人工膝関節置換術104件のうち95%をMISで行うなど、現在ではほとんどの症例に用いているという。

ついているなど、股関節と比べて構造が複雑で、術中は靭帯の処理法や全体のバランスの調整といった多くの注意を払う必要がある。MISは、その上で小さな切開部を通して関節の隅々まで確認しながら機器を入れるため、医師に技量が求められるが、患者にとつては利点が大きいです。

「膝関節は、その構造や可動域の広さから、股関節などに比べて術後のリハビリテーションの負担や苦痛が大きくなります。小さい切開で筋肉を傷つけないようにして手術を行うことで、比較的容易なリハビリを目指すことができます」。結果として、入院の期間も2〜3週間になるといいます。

一貫して治療に取り組む 不安があれば受診を

東院長は、人工関節置換術を行う傍ら、診断から手術後のリハビリまで一貫して治療に携わっているほか、全国からMISの習得を望み見学に訪れる整形外科医へ指導を行っている。そうした院長の姿勢もあり、同院では開院2周年の2009年10月に新患者数の累計が6000人を超しているという。

「患者さんが相談しやすく、治療後も来て良かったと思われたい。膝の痛みで悩まれる方は、一人で悩まないで気軽に相談していただきたいと思います」と東院長は語る。

取材/鈴木健太



待合室は落ち着いた雰囲気



病室は個室を中心とし、インターネットなどの設備が充実



桑園整形外科外観

桑園整形外科

診療科目：整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科
受付時間：平日 9:00~12:00/14:00~18:00
土 9:00~12:00
休診日：土午後・日・祝
〒060-0008
北海道札幌市中央区北8条西16丁目28-30
(JR桑園駅より徒歩4分、無料送迎バス運行中)
TEL.011-633-3636 FAX.011-633-3737
http://www.dr-azuma.net/